

**委託事業実施内容報告書**  
**平成29年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業**  
**【地域日本語教育実践プログラム(A)】**

**内容報告書**

団体名: 小松市国際交流協会

**1. 事業の概要**

事業名称	協働のための「小松式日本語教育」推進事業
事業の目的	昨年度は外国人日本語講師が初級クラスの日本語指導補助として自分たちの母語で日本語を教えることにより、日本語学習のすそ野を広げるための取組を行ってきたが、その結果、日本語教育支援者側となって活躍できる外国人キーパーソンを集めて活躍できるようになり、地域にも日本語で発信できる外国人が増えた。しかし、外国人が小松市に暮らすための日本語を教えるための「小松式日本語教育プログラム(カリキュラム)」はまだ整備されていない。日本語教育に対する理解や周知が広がった今、日本語教育の実施体制を構築するための教室・教材・人材養成のプログラムを整備する。日本語教室に参加しない外国人や日本語が全く話せない外国人はまだ多い。また、実際に教えてみて直面する問題や、現在はポルトガル語を母語とする外国人講師のみのため、他の言語の学習者に対応することが難しいという問題を解消し、更なる日本語学習者の掘り起しを進め指導者の育成にもつなげる。さらには地域住民のなかからも日本語講師の育成を進め、地域全体に日本語教育の必要性や多文化共生社会の推進、外国人と日本人の協働によるまちづくりについて理解を促進する。そして日本人指導者と外国人指導者の協働による「小松式日本語教育プログラム」を策定できるよう、今年度も継続して連携を深める。また、簡単な会話はできるが読み書きができない日系人が多いため、そのような層に対して外国人日本語講師が使用できるような教材を作成し、日本語学習支援の更なる充実を図る。
日本語教育活動に関する地域の実情・課題	これまで日本語教室を継続してきた経緯があり、小松市の日本語教室は少しずつ周知されてきているが日本語教室に参加しない外国人や日本語が全く話せない外国人はまだ多い。昨年度はこのような層の更なる日本語学習者の掘り起しを目的に、外国人日本語講師に初級クラスの指導補助として入ってもらったが、ポルトガル語を母語とする外国人講師のみで他言語の学習者にスムーズに対応することが難しかった。また、小松市在住の日系人の中には在任期間は長くて簡単な会話はできるのだが読み書きができず、配布物の読み取りや住所の記入などに支障がある人が多いことがわかった。日本語学習支援が必要な層が日本語を学習できるような環境を整えることに加え、会話だけではなく簡単な読み書きができるようになり、更に不自由のない生活がおくれるよう日本語学習のサポート体制を整えていく必要がある。
事業内容の概要	○日本語力の更なるレベルアップのための継続的な日本語教室の開催。 ○平成27年度に開催した「外国人向け日本語講師養成講座」受講者の更なるレベルアップと、現在外国人講師が教えながら抱えている問題の解決及び、現在のポルトガル語を母語とする外国人講師に加え、他の言語での外国人日本語講師育成のための「外国人のための日本語講師養成講座パートII」の開催。 ○ひろく地域住民に同じ地域に在住する外国人のことを知ってもらい、日本語教育の重要性や多文化共生社会の推進、外国人は一緒に地域づくりを担える存在であるということを理解してもらうための日本人向け「日本語講師養成講座」の開催。 ○日本語学習の更なるすそ野拡大につながるような、地域にあった初級レベルの学習者向け教材の作成
事業の実施期間	平成29年5月～平成30年2月 (10か月間)

**2. 事業の実施体制**

**(1) 運営委員会**

【運営委員】

1	志村 恵	金沢大学
2	今井 武	公益財団法人石川県国際交流協会
3	藤井 勝司	小松市役所 国際都市推進課
4	中野 ルシア	フジアルテ株式会社(派遣会社)
5	郷原 トモコ	在住外国人
6	北川 雅恵	小松市教育委員会
7	村上 洋子	北陸大学
8	グラッシ 徳子	小松市国際交流協会
9	前田 弥生	小松市国際交流協会



**【概要】**

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題及び検討内容
1	平成29年6月11日(日) 14:00～16:00	2	こまつまちづくり交流センター	志村恵、今井武、藤井勝司、中野ルシア、郷原トモコ、北川雅恵、村上洋子、グラッシ徳子、前田弥生	・最近の外国人の動向について情報共有 ・外国人の為の日本語講師養成講座パートIIでは、外国人日本語講師がどの様に活躍できるか、昨年度の状況を踏まえ内容の検討 ・日本語講師養成講座の講座時間や内容の検討 ・学習者の動向に沿った教材作成の検討
2	平成29年11月12日(日) 14:00～16:00	2	こまつまちづくり交流センター	志村恵、今井武、藤井勝司、中野ルシア、郷原トモコ、北川雅恵、村上洋子、グラッシ徳子、前田弥生	・日本語学習者の動向について情報共有。 ・実施済の取組について、課題の共有や全国的な傾向の確認。 ・次年度について検討
3	平成30年2月25日(日) 14:00～16:00	2	こまつまちづくり交流センター	志村恵、今井武、中野ルシア、郷原トモコ、北川雅恵、村上洋子、グラッシ徳子、前田弥生	・初級・超初級クラスの学習者定着が難しい状況について ・外国人日本語講師の育成について、国がなかなか増えない。 ・日本人向けの養成講座終了後、残る人は少ないが継続が必須な事業である。 ・教材作成について、予想より時間がかかっている。

**(2) 事業の実施体制**

北陸大学で日本語講師をしている村上氏、市教育委員会から派遣され市内小学校で外国籍児童に日本語指導をしている北川氏、日本語教育22年の実績と経験を持ち当協会の日本語コーディネーターも務めるグラッシ氏の3名の中核メンバーを中心に、当協会所属の他日本語講師にも本事業実施に積極的に携わってもらい、グラッシ氏が本田と緊密に連携し、各取組間の進捗を管理する。「日本語教育の実施」は北川氏、「外国人のための日本語講師養成講座パートII」「学習教材の作成」については村上氏が指導を担当する。中核メンバーは毎週打合せを行い、事業責任者に進捗管理・情報交換を行うと共に、コーディネーターは運営委員に定期的に各取組の進捗や現状の課題などについて共有を図る。

**(3) 地域における連携体制**

複数年度の文化庁委託事業により行政各関係部局や大学、地域コミュニティとの連携・協力体制が徐々に出来てきたことから、本年度も小松市をはじめ様々な地域のボランティア団体等と連携・協力し、日本語教育の体制整備を進めると共に教室が活動の中核となり、外国人住民がまちづくりに積極的に参加しているよう、「協働」を促進する。また、地域住民を対象とした「日本語講師養成講座」を開催することで、地域に在住する外国人のことを知ってもらい日本語教育の重要性や多文化共生社会の推進を理解してもらい推進につなげていく。更に今年度は市内でいちばん多くの日系人が在籍する派遣会社の担当者に運営委員に加わってもらうことで、外国人側からみた日本語学習に関する実状や課題をより深く探り、ニーズに合った学習機会の提供ができるよう進めると共に、外国人コミュニティをまちづくりの中に引き出せるよう、外国人コミュニティとも連携を図り、市内各関係者と繋がりを作っていき連携・協力を推進していく。

3. 各取組の報告

日本語教育の実施【活動の名称：協働のための日本語教育(超級クラス)】									
目的・目標	「生活者のための外国人」のための標準的なカリキュラム案に基づき、日本語レベルのさらなる向上を目指す。また、文化的背景の学習及び知識の習得、地域で行われている行事等に積極的に参加することによる顔の見える関係づくりを目指すと共に、日本語学習を躊躇している外国人の更なる掘り起しを進める。								
対象	外国人								
取組の内容	超級クラスは新聞を活用し、今日本で問題になっている時事問題や、納税、確定申告など幅広いテーマで日本人と同じように生活できることを目指す。超級、上級クラスは周りに住んでいる外国人の手助けができるように、できるだけ生の日本の現状を学び理解することを目指す。								
実施期間	平成29年5月7日～平成30年2月25日				曜日・時間帯		日曜日(9:30～11:30)		
開催回数	全 78 時間 (1回 2時間 × 39 回)				開催場所		こまつまちづくり交流センター		
参加者	総数 15 人 (日本語学習者 13 人、指導者・支援者 2 人 など)				使用した教材・リソース		文化庁「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案、みんなの日本語 I・II、おしゃべりのたね、小松市広報、市役所の見取り図、ゴミわけパンフレット、ゴミカレンダーなど		
出身・国別内訳 (人数)	中国	韓国	ブラジル	ベトナム	ネパール	タイ	インドネシア	ペルー	フィリピン
	2		5			1	2		
	アメリカ(1) シンガポール(1) ウルグアイ(1)								
カリキュラム案活用	日本語を使って、健康・安全に暮らす。他者との関係を円滑にする。相互理解を図り、社会の一員として生活を送ることができる。								
日本語教育の実施内容									
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組のテーマ	授業概要	指導者名	補助者名	
1	平成29年5月7日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	7	今年度の活動予定	今年度の超級クラスで取り組む内容を考える	牧本暢子	吉田良恵	
2	平成29年5月14日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	6	歌舞伎を知ろう	小松市の有名な子供歌舞伎の内容を知り、歌舞伎を楽しむ	北川雅恵	吉田良恵	
3	平成29年5月28日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	7	歌舞伎を説明しよう	見てきた歌舞伎の内容を話す	北川雅恵	吉田良恵	
4	平成29年6月4日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	7	歌舞伎に挑戦しよう	役者になったつもりでやってみる	北川雅恵	吉田良恵	
5	平成29年6月11日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	6	地震について考えよう	防災について考えてみよう	牧本暢子	吉田良恵	
6	平成29年6月18日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	5	地震について考えよう	災害ボランティアについて学ぶ	牧本暢子	吉田良恵	
7	平成29年6月25日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	6	地震について考えよう	日本の地形、火山について知る	北川雅恵	吉田良恵	
8	平成29年7月2日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	6	地震について考えよう	災害時の避難場所を確認する	牧本暢子	吉田良恵	
9	平成29年7月9日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	7	救急総合訓練のための事前授業	消防の救急隊の訓練に外国人通報役としての学習	牧本暢子	吉田良恵	
10	平成29年7月16日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	7	救急技能講習	消防の救急隊の訓練に外国人通報役	北川雅恵	吉田良恵	
11	平成29年7月23日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	8	バーベキューをしよう	バーベキューの計画書作成と準備	北川雅恵	吉田良恵	
12	平成29年7月30日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	8	バーベキューをしよう	バーベキューの準備	牧本暢子	吉田良恵	
13	平成29年8月6日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	5	日本事情	日本地理	北川雅恵	吉田良恵	
14	平成29年8月13日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	5	日本事情	日本事情クイズ	北川雅恵	吉田良恵	
15	平成29年8月20日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	6	救急技能講習	救急技能講習のための事前授業	牧本暢子	吉田良恵	
16	平成29年9月3日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	5	救急技能講習	救急技能講習	牧本暢子	吉田良恵	
17	平成29年9月10日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	8	消防署の働き	消防署見学	北川雅恵	吉田良恵	
18	平成29年9月17日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	6	日本文化体験	俳句を作ってみよう	牧本暢子	吉田良恵	
19	平成29年9月24日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	7	日本文化体験	ホームビジット	北川雅恵	吉田良恵	
20	平成29年10月1日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	6	災害時の避難方法	超級レベルでできることは何かを考える	牧本暢子	吉田良恵	

21	平成29年10月8日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	7	小松市主催の防災訓練事前学習	次週の防災訓練の事前学習をする	牧本暢子	吉田良恵
22	平成29年10月15日(日) 9:30~11:30	2	国府小学校	8	防災訓練	小松市総合防災訓練に参加する	牧本暢子	吉田良恵
23	平成29年10月22日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	5	防災訓練の振り返り	防災訓練でわかったことを確認する	北川雅恵	吉田良恵
24	平成29年10月29日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	6	小松市のゴミ有料化に	市のゴミ袋有料化への経緯を知る	牧本暢子	吉田良恵
25	平成29年11月5日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	5	ゴミ袋の入手先	有料になるゴミ袋の入手先や出し方を学ぶ	牧本暢子	吉田良恵
26	平成29年11月12日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	6	母語で伝えよう	ゴミ袋の有料化を母語で知らせる	牧本暢子	吉田良恵
27	平成29年11月19日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	7	小松市防災訓練事前学習	訓練で自分の母語で説明できるようにする	北川雅恵	吉田良恵
	平成29年11月19日(日) 13:00~16:00	3	北部地区体育館	7	防災訓練	小松市総合防災訓練に参加する		
28	平成29年11月26日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	5	防災訓練の振り返り	防災訓練でわかったことを確認する	北川雅恵	吉田良恵
29	平成29年12月3日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	6	津波について知ろう	津波の仕組みや避難場所を考える	牧本暢子	吉田良恵
30	平成29年12月10日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	5	風水害について知ろう	河川の氾濫をどのように多言語で知らせるか考える	北川雅恵	吉田良恵
31	平成29年12月17日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	5	土砂災害について知ろう	土砂災害の危険区域の現状を知る	牧本暢子	吉田良恵
32	平成29年12月24日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	6	ボランティア活動とは	ボランティア活動への理解を深める①	北川雅恵	吉田良恵
33	平成30年1月7日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	7	ボランティア活動とは	ボランティア活動への理解を深める②	牧本暢子	吉田良恵
34	平成30年1月14日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	7	地域の人に知ってもらおう	地域住民に自分の国の料理を知ってもらうためのレシピを書く	牧本暢子	吉田良恵
35	平成30年1月21日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	6	地域の人に知ってもらおう	地域住民に自分の国の酒を知ってもらうためのレシピを書く	牧本暢子	吉田良恵
36	平成30年1月28日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	8	文化の違いを知ろう	地域住民と共に日本と母国の料理や酒の違いを知り、実際に作って味わう	北川雅恵	吉田良恵
37	平成30年2月4日(日) 9:30~11:30	2	浜松市	8	文化庁発表見学	他の文化庁の発表を見学しに行く		
38	平成30年2月11日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	7	振り返り	他団体の発表を見学し、その感想を述べる	北川雅恵	吉田良恵
39	平成30年2月18日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	6	パワーポイントを作ろう	パワーポイントの作り方を知る	牧本暢子	吉田良恵
40	平成30年2月25日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	6	今年度の振り返り	一年の活動を振り返る	北川雅恵	吉田良恵

(1) 特徴的な活動風景(2~3回分)

○取組事例①

【第22回 平成29年10月15日】

小松市総合防災訓練に参加した。毎年恒例として参加しているので日本語が上手ではないクラスの学習者に積極的に通訳してくれたり、参加の意義を説明していた。また、事前授業で母語で説明する練習もしていたので、混乱なくスムーズに説明したいように思われる。単なる通訳ではなく、防災訓練の必要性をも通訳してくれていたのが良かった。



○取組事例②

【第36回 平成30年1月28日】

地域住民と共に日本と母国の料理や酒の違いを知り、実際に作って味わうという企画を考え、実際に日本人と交流しながら理解を深めた。いつもなら受け身の外国人であるが、今回は母国の料理と酒を自分たちが考えレシピを披露し母国を理解してもらうことで力が入っていた。また、日本の酒蔵を見学でき、興味を示していた。



(2) 目標の達成状況・成果

今年度は浜松で行われたフォーラムに参加し、刺激を受けたようである。自分たちでもっと企画し運営していくことを考えていければと話していた。今までは指示されたことに関して適切に行動したり、または発展させる力はあったがゼロから自分たちだけで運用することも可能なのではないかと考えるようになり、刺激になったと思われた。

(3) 今後の改善点について

超級クラスなので、やはり通訳や母国の人たちの面倒を頼むことが多いので、少々負担になる場面もあった。また、どうしても言語が偏ってしまう。ベトナムの超級者がいないので通訳など困るときがあるためこれからの課題となる。ベトナムの超級者を育てていくのが今後の課題である。また、頻繁に使用されない役所などの語彙、特に漢字の学習にも力を入れなければ通訳等など時に支障をきたすので、専門語彙なども視野に入れて学習していく必要があると思われた。

3. 各取組の報告

日本語教育の実施【活動の名称：協働のための日本語教育(上級クラス)】									
目的・目標	「生活者のための外国人」のための標準的なカリキュラム案に基づき、日本語レベルのさらなる向上を目指す。また、文化的背景の学習及び知識の習得、地域で行われている行事等に積極的に参加することによる顔の見える関係づくりを目指すと共に、日本語学習を躊躇している外国人の更なる掘り起しを進める。								
対象	外国人								
取組の内容	上級クラスは、日本のテレビ番組やニュースの聞き取り、日本の一般的なマナーを理解する。超級、上級クラスは周りに住んでいる外国人の手助けができるように、できるだけ生の日本の現状を学び理解することを目指す。								
実施期間	平成29年5月7日～平成30年2月25日			曜日・時間帯		日曜日(9:30～11:30)			
開催回数	全 78 時間 (1回 2時間 × 39 回)			開催場所		こまつまちづくり交流センター			
参加者	総数 21 人 (日本語学習者 19 人、指導者・支援者 2 人など)			使用した教材・リソース		文化庁「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案、みんなの日本語 I・II、おしゃべりのたね、小松市広報、市役所の見取り図、ゴミわけパンフレット、ゴミカレンダーなど			
出身・国別内訳 (人数)	中国	韓国	ブラジル	ベトナム	ネパール	タイ	インドネシア	ペルー	フィリピン
	1		4	11		1	1		
カリキュラム案活用	日本語を使って、健康・安全に暮らす。他者との関係を円滑にする。相互理解を図り、社会の一員として生活を送ることができる。								
日本語教育の実施内容									
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組のテーマ	授業概要	指導者名	補助者名	
1	平成29年5月7日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	9	今年度の活動予定	今年度の上級クラスで取り組む内容を考える	中村知恵	吉田良恵	
2	平成29年5月14日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	8	お旅まつりを知ろう	小松市の有名な子供歌舞伎の内容を知る	中村知恵	吉田良恵	
3	平成29年5月28日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	7	感想を書こう	彦根市で見学してきたことを感想文にする	大杉桂子	吉田良恵	
4	平成29年6月4日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	7	俳句を作ろう	俳句について学ぶ	大杉桂子	吉田良恵	
5	平成29年6月11日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	6	俳句を飾ろう	作った俳句を色紙に書く	中村知恵	吉田良恵	
6	平成29年6月18日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	7	ボランティア活動とは	ボランティア活動への理解を深める	中村知恵	吉田良恵	
7	平成29年6月25日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	8	ボランティア活動とは	自分たちができるボランティア活動について考える	大杉桂子	吉田良恵	
8	平成29年7月2日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	8	七夕	七夕飾りを作り願い事を書く	中村知恵	吉田良恵	
9	平成29年7月9日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	9	擬音語	漫画などでよく使われる擬音語を紹介する	大杉桂子	吉田良恵	
10	平成29年7月16日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	8	擬音語	興味のある擬音語を教え合う	大杉桂子	吉田良恵	
11	平成29年7月23日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	9	擬態語	擬態語の意味を想像する	中村知恵	吉田良恵	
12	平成29年7月30日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	11	バーベキューをしよう	バーベキューの計画と準備	中村知恵	吉田良恵	
13	平成29年8月6日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	7	ゴミ問題を考える	環境にやさしいゴミの分別の仕方を学ぶ	大杉桂子	吉田良恵	
14	平成29年8月13日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	8	小松市のゴミ袋有料化に	市のゴミ袋有料化への経緯を知る	中村知恵	吉田良恵	
15	平成29年8月20日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	8	指定ゴミ袋の入手先	有料になるゴミ袋の入手先や出し方を学ぶ	大杉桂子	吉田良恵	
16	平成29年9月3日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	7	薬局薬店を利用する	症状を説明し薬を購入する	中村知恵	吉田良恵	
17	平成29年9月10日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	8	緊急対応	外国人の通報訓練事前学習	大杉桂子	吉田良恵	
18	平成29年9月17日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	8	緊急対応	外国人の通報訓練実施	中村知恵	吉田良恵	
19	平成29年9月24日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	7	地震について考える	地震の現状を知り、災害の恐ろしさを認識する	大杉桂子	吉田良恵	
20	平成29年10月1日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	9	消防署の働き	救急車、消防車見学	中村知恵	吉田良恵	

21	平成29年10月8日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	8	小松市主催の防災訓練事前学習	次週の防災訓練の事前学習をする	大杉桂子	吉田良恵
22	平成29年10月15日(日) 9:30~11:30	2	国府小学校	6	防災訓練	小松市総合防災訓練に参加する	大杉桂子	吉田良恵
23	平成29年10月22日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	7	防災訓練の振り返り	防災訓練でわかったことを確認する	大杉桂子	吉田良恵
24	平成29年10月29日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	8	医療機関を紹介しよう	他の人に紹介できるような時間や休診日を調べる	中村知恵	吉田良恵
25	平成29年11月5日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	8	受診の流れを知ろう	初診のときの受診の仕方を知る	大杉桂子	吉田良恵
26	平成29年11月12日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	9	薬のもらい方を知ろう	薬のもらい方を知る	大杉桂子	吉田良恵
27	平成29年11月19日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	7	小松市防災訓練事前学習	次週の防災訓練の事前学習をする	中村知恵	吉田良恵
	平成29年11月19日(日) 13:00~16:00	3	北部地区体育館	10	防災訓練	小松市総合防災訓練に参加する		
28	平成29年11月26日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	8	防災訓練の振り返り	防災訓練でわかったことを確認する	大杉桂子	吉田良恵
29	平成29年12月3日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	7	自分の意見を書こう	1月に行われるスピーチコンテストの原稿を書く	大杉桂子	吉田良恵
30	平成29年12月10日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	6	自分の意見を書こう	原稿の修正	中村知恵	吉田良恵
31	平成29年12月17日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	6	自分の意見を発表しよう	書いた原稿を読む練習	中村知恵	吉田良恵
32	平成29年12月24日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	8	劇をしよう	国際交流パーティー参加のための劇の練習	中村知恵	吉田良恵
33	平成30年1月7日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	7	発表練習	スピーチコンテスト発表の練習	中村知恵	吉田良恵
34	平成30年1月14日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	8	今年の目標	1年の目標を考える	中村知恵	吉田良恵
35	平成30年1月21日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	6	日本を知ろう	日本地理	中村知恵	吉田良恵
36	平成30年1月28日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	6	日本を知ろう	日本事情クイズ	大杉桂子	吉田良恵
37	平成30年2月4日(日) 9:30~11:30	2	浜松市	7	文化庁発表見学	他の文化庁の発表を見学しに行く		
38	平成30年2月11日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	8	振り返り	他団体の発表を見学し、その感想を述べる	大杉桂子	吉田良恵
39	平成30年2月18日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	8	パワーポイントを作ろう	パワーポイントの作り方を知る	中村知恵	吉田良恵
40	平成30年2月25日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	7	今年度の振り返り	一年の活動を振り返る	中村知恵	吉田良恵

(1) 特徴的な活動風景(2~3回分)

○取組事例①

【第18回 平成30年9月10日】

小松市消防本部の方々の協力を得て、緊急時における通報の仕方を学習した。これは日本人の消防隊員の方にも勉強になった。実際外国人からの通報もあり、その時の対応の仕方や日本語が不自由な場合の外国人に通訳対応の仕方など実践さながらの活動であった。また、外国人側にとっても実際に電話での救急の呼び方などの質問がされ、どのように答えればよいかなど多くを学んだと思われる取組であった。



○取組事例②

【第33回 平成30年1月7日】

午後から行われる小松市国際交流協会の日本語スピーチコンテストで自分の考えや意見を発表するために練習を行った。コンテストに出るのを恐る学習者たちもいたが、最後は勇気を振り絞り頑張る学習者たちだった。大勢の人の前で母語以外で発表するのは初めての人が多く、緊張していたが、それでも最後まで諦めずにみな原稿を覚えて発表することができた。



(2) 目標の達成状況・成果

この一年間で随分と日本語が上達し、スピーチコンテストでは自分の意見を自分の言葉で表現できるようになり、益々自信がついたように思われる。自分の意見をいかにまとめて文章にするのにか戸惑ってはいたが、自分たちの言いたいことを日本語で表現し、それを不特定多数の人に伝えるということがいい経験なり、日本語学習の動機付けにもなったと思われる。また、超級クラスに頼るようなことが最初はあったが、だんだんと頼られることが多くなり、しっかりと自分たちで考え行動できるようになった。

(3) 今後の改善点について

聞くことや話すことにはさほど差はないが、やはり読み書き特に漢字になると差が歴然と出るため、クラスで一緒に進めるのが難しいこともあった。簡単な情報を文字からも取り入れられるよう新聞記事なども使い授業を進め、漢字苦手意識を少なくしたい。また、スピーチでも思われたことだが、自分の言いたいことをいかにまとめるかが課題となった。

3. 各取組の報告

日本語教育の実施【活動の名称：協働のための日本語教育(中級クラス)】									
目的・目標	「生活者のための外国人」のための標準的なカリキュラム案に基づき、日本語レベルのさらなる向上を目指す。また、文化的背景の学習及び知識の習得、地域で行われている行事等に積極的に参加することによる顔の見える関係づくりを目指すと共に、日本語学習を躊躇している外国人の更なる掘り起しを進める。								
対象	外国人								
取組の内容	中級クラスは生活の中で不自由がないよう、日常生活が円滑に行えるようにレベルアップを目指す。								
実施期間	平成29年5月7日～平成30年2月25日				曜日・時間帯		日曜日(9:30～11:30)		
開催回数	全 80 時間 (1回 2時間 × 40 回)				開催場所		こまつまちづくり交流センター		
参加者	総数 41 人 (日本語学習者 36 人、指導者・支援者 5 人など)				使用した教材・リソース		文化庁「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案、みんなの日本語 I・II、おしゃべりのたね、小松市広報、市役所の見取り図、ゴミわけパンフレット、ゴミカレンダーなど		
出身・国内別訳(人数)	中国	韓国	ブラジル	ベトナム	ネパール	タイ	インドネシア	ペルー	フィリピン
	4		2	15		1	10		2
カリキュラム案活用	日本語を使って、健康・安全に暮らす。他者との関係を円滑にする。相互理解を図り、社会の一員として生活を送ることができる。								
日本語教育の実施内容									
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組のテーマ	授業概要	指導者名	補助者名	
1	平成29年5月7日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	14	今年度の活動予定	今年度の中級クラスで取り組む内容、及び授業の進め方	天野晴美	吉田良恵	
2	平成29年5月14日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	12	お旅まつりを知ろう	小松市の有名な子供歌舞伎の内容を知る	天野晴美	吉田良恵	
3	平成29年5月28日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	15	感想を書こう	彦根市で見学してきたことを感想文にする	シケイラロボ初音	吉田良恵	
4	平成29年6月4日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	13	語彙を増やそう	日用品、雑貨、電気製品などの語彙を知る	天野晴美	吉田良恵	
5	平成29年6月11日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	13	語彙を増やそう	カタカナ言葉を知る	天野晴美	吉田良恵	
6	平成29年6月18日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	11	ボランティア活動とは	ボランティア活動への理解を深める①	シケイラロボ初音	吉田良恵	
7	平成29年6月25日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	13	ボランティア活動とは	ボランティア活動への理解を深める②	シケイラロボ初音	吉田良恵	
8	平成29年7月2日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	12	七夕	七夕の由来を知り七夕飾りを作り願い事を書く	天野晴美	吉田良恵	
9	平成29年7月9日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	10	擬音語	擬音語とは	天野晴美	吉田良恵	
10	平成29年7月16日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	9	擬音語	興味のある擬音語を教え合う	シケイラロボ初音	吉田良恵	
11	平成29年7月23日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	11	擬音語	擬音語の意味を想像する	シケイラロボ初音	吉田良恵	
12	平成29年7月30日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	14	パーベキューをしよう	パーベキューの準備	天野晴美	吉田良恵	
13	平成29年8月6日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	10	ゴミ問題を考える	ゴミの分別の仕方を学ぶ	シケイラロボ初音	吉田良恵	
14	平成29年8月13日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	9	小松市のゴミ袋有料化	市のゴミ袋有料化を知る	シケイラロボ初音	吉田良恵	
15	平成29年8月20日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	12	指定ゴミ袋の入手先	有料になるゴミ袋の入手先や出し方を学ぶ	天野晴美	吉田良恵	
16	平成29年9月3日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	13	日本文化体験	ホームビジット	シケイラロボ初音	吉田良恵	
17	平成29年9月10日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	12	日本文化体験	感想とお礼を書く	天野晴美	吉田良恵	
18	平成29年9月17日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	10	日本事情	日本地理	シケイラロボ初音	吉田良恵	
19	平成29年9月24日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	11	地震について考える	避難場所を知る	天野晴美	吉田良恵	
20	平成29年10月1日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	12	消防署の働き	救急車、消防車の電話のかけ方を知る	天野晴美	吉田良恵	

21	平成29年10月8日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	10	小松市主催の防災訓練事前学習	次週の防災訓練の事前学習をする	シケイロボ初音	吉田良恵
22	平成29年10月15日(日) 9:30~11:30	2	国府小学校	7	防災訓練	小松市総合防災訓練に参加する	中村知恵	吉田良恵
23	平成29年10月22日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	8	防災訓練の振り返り	防災訓練でわかったことを確認する	中村知恵	吉田良恵
24	平成29年10月29日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	13	日本文化体験	茶道	シケイロボ初音	吉田良恵
25	平成29年11月5日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	11	日本文化体験	華道	天野晴美	吉田良恵
26	平成29年11月12日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	12	日本文化体験	感想を書いてみよう	シケイロボ初音	吉田良恵
27	平成29年11月19日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	14	小松市防災訓練事前学習	次週の防災訓練の事前学習をする	多島智枝	吉田良恵
	平成29年11月19日(日) 13:00~16:00	3	北部地区体育館	14	防災訓練	小松市総合防災訓練に参加する		
28	平成29年11月26日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	11	防災訓練の振り返り	防災訓練でわかったことを確認する	多島智枝	吉田良恵
29	平成29年12月3日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	8	自分の意見を書こう	1月に行われるスピーチコンテストの原稿を書く	シケイロボ初音	吉田良恵
30	平成29年12月10日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	6	自分の意見を書こう	原稿の修正	多島智枝	吉田良恵
31	平成29年12月17日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	13	劇をしよう	国際交流パーティ参加のための劇の練習	シケイロボ初音	吉田良恵
32	平成29年12月24日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	14	劇をしよう	国際交流パーティ参加のための劇の練習	大杉桂子	吉田良恵
33	平成30年1月7日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	7	発表練習	スピーチコンテスト発表の練習	多島智枝	吉田良恵
34	平成30年1月14日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	10	今年の目標	1年の目標を考える	シケイロボ初音	吉田良恵
35	平成30年1月21日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	11	医療機関を調べよう	近くの医療機関を調べる	多島智枝	吉田良恵
36	平成30年1月28日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	9	医療機関を紹介しよう	他の人に紹介できるような時間や休診日を調べる	多島智枝	吉田良恵
37	平成30年2月4日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	12	受診の流れを知ろう	初診のときの受診の仕方を知る	多島智枝	吉田良恵
38	平成30年2月11日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	11	薬のもらい方を知ろう	薬のもらい方を知る	多島智枝	吉田良恵
39	平成30年2月18日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	10	薬局薬店を利用する	症状を説明し薬を購入する	大杉桂子	吉田良恵
40	平成30年2月25日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	10	今年度の振り返り	一年の活動を振り返る	多島智枝	吉田良恵

(1) 特徴的な活動風景(2~3回分)

○取組事例①

【第12回 平成29年7月30日】

自分たちが企画し、話し合い、準備した。このクラスでは初めてであり最初はなかなか進まなかったが、少々助言をした。そのあとはスムーズにいき、バーベキューに決まった。受け身が多い中級クラスだったが、最後までやり遂げとても充実していた。



○取組事例②

【第32回 平成29年12月24日】

小松市国際交流協会にて劇を披露した。毎週クラスが終わった後も練習し、最初はセリフが言えず苦労していたが、だんだんとそれなりに形になり自信もついてきた。自分たちがこんなにも日本語で劇ができるなんて思ってもみなかったし、日本人からも褒められうれいしと感動していた。



(2) 目標の達成状況・成果

教室を離れバスで出かける課外活動は人気である。生活に困るレベルではないので、仕事が忙しいと教室参加が減ってしまう。継続して学習させるための企画が必要だと考え授業をすすめた。今の日本語レベルで満足せずもっと上を目指してもらえよう、動機づけが必要であり、日本語習得が自分たちの生活向上へつながるのであると訴える必要があると思われた。

(3) 今後の改善点について

教室内で読み書きレベルの差があり、どこまでケアするのが問題になった。まずは、日常的に使用される漢字から習得できるよう授業を進めていこうと思った。特に非漢字圏の学習者の苦手意識を取り除き、いかに習得すると良いかを伝えていかなければならないと思った。今後何かのイベントなどで日本語で何かを発表したり、もっと前に入るような取組が必要だと思った。また、授業が日曜日なので実際に見学し学習させた場所へ連れて行けず残念であった。

3. 各取組の報告

日本語教育の実施【活動の名称: 協働のための日本語教育(初中級クラス)】									
目的・目標	「生活者のための外国人」のための標準的なカリキュラム案に基づき、日本語レベルのさらなる向上を目指す。また、文化的背景の学習及び知識の習得、地域で行われている行事等に積極的に参加することによる顔の見える関係づくりを目指すと共に、日本語学習を躊躇している外国人の更なる掘り起しを進める。								
対象	外国人								
取組の内容	初中級クラスは基礎からもう一歩進み、中級クラスへの架け橋となるよう学習する。								
実施期間	平成29年5月7日～平成30年2月25日				曜日・時間帯		日曜日(9:30～11:30)		
開催回数	全 80 時間 (1回 2時間 × 40 回)				開催場所		こまつまちづくり交流センター		
参加者	総数 44 人 (日本語学習者 38 人、指導者・支援者 6 人など)				使用した教材・リソース		文化庁「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案、みんなの日本語 I・II、おしゃべりのたね、小松市広報、市役所の見取り図、ゴミわけパンフレット、ゴミカレンダーなど		
出身・国内訳(人数)	中国	韓国	ブラジル	ベトナム	ネパール	タイ	インドネシア	ペルー	フィリピン
	2		5	21		1	4		2
カリキュラム案活用	日本語を使って、健康・安全に暮らす。他者との関係を円滑にする。相互理解を図り、社会の一員として生活を送ることができる。								
日本語教育の実施内容									
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組のテーマ	授業概要	指導者名	補助者名	
1	平成29年5月7日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	14	あいさつ	あいさつの文化的相違を理解する	シケイラロボ初音	吉田良恵	
2	平成29年5月14日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	14	お旅まつりを知ろう	小松市の有名な子供歌舞伎の内容を知る	シケイラロボ初音	吉田良恵	
3	平成29年5月28日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	13	振り返り	簡単な感想を書いてみる	多島智枝	吉田良恵	
4	平成29年6月4日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	14	目的に移動	公共機関を利用する	多島智枝	吉田良恵	
5	平成29年6月11日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	12	目的に移動	タクシーを利用する	北川雅恵	吉田良恵	
6	平成29年6月18日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	14	目的に移動	目的地までの道を尋ねる	北川雅恵	吉田良恵	
7	平成29年6月25日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	11	地域社会の一員となる	各種手続きの種類や仕方を理解する	多島智枝	吉田良恵	
8	平成29年7月2日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	12	地域社会の一員となる	税金や確定申告の仕方を理解する	多島智枝	吉田良恵	
9	平成29年7月9日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	14	通信する	電話の掛け方や、受け方を理解する	シケイラロボ初音	吉田良恵	
10	平成29年7月16日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	11	料理を作ろう	料理に必要な言葉を知る	多島智枝	吉田良恵	
11	平成29年7月23日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	9	料理を作ろう	調理実習をする	多島智枝	吉田良恵	
12	平成29年7月30日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	13	物品を購入する	必要な物を売っている場所を聞く	シケイラロボ初音	吉田良恵	
13	平成29年8月6日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	12	物品を購入する	商品について聞いて情報を得る	多島智枝	吉田良恵	
14	平成29年8月13日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	7	物品を購入する	商品の機能や使い方、値段を聞くことができる	多島智枝	吉田良恵	
15	平成29年8月20日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	12	医療機関で治療を受ける	医者に自分の症状を伝えることができる	多島智枝	吉田良恵	
16	平成29年9月3日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	10	医療機関で治療を受ける	問診票の書き方、答え方	多島智枝	吉田良恵	
17	平成29年9月10日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	11	災害に備え対応する	気象情報に留意し理解する	多島智枝	吉田良恵	
18	平成29年9月17日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	13	非常のとき	大雨や台風情報に留意し理解し行動する	多島智枝	吉田良恵	
19	平成29年9月24日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	10	非常のとき	避難場所・方法の情報を理解したり人に聞いたりする	多島智枝	吉田良恵	
20	平成29年10月1日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	9	防災訓練	小松市主催の防災訓練に参加するための事前学習①	多島智枝	吉田良恵	

21	平成29年10月8日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	10	防災訓練	小松市主催の防災訓練に参加するための事前学習②	多島智枝	吉田良恵
22	平成29年10月15日(日) 9:30~11:30	2	国府小学校	7	防災訓練	小松市総合防災訓練に参加する	北川雅恵	吉田良恵
23	平成29年10月22日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	10	防災訓練の振り返り	防災訓練でわかったことを確認する	多島智枝	吉田良恵
24	平成29年10月29日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	9	ゴミ問題	小松市でのごみの分別が正しくできるようになる	多島智枝	吉田良恵
25	平成29年11月5日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	11	ゴミ問題	リサイクルについて学習する	北川雅恵	吉田良恵
26	平成29年11月12日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	8	ゴミ問題	分別が難しいゴミについての対応を知る	中村知恵	吉田良恵
27	平成29年11月19日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	13	小松市防災訓練事前学習	次週の防災訓練の事前学習をする	牧本暢子	吉田良恵
	平成29年11月19日(日) 13:00~16:00	3	北部地区体育館	13	防災訓練	小松市総合防災訓練に参加する		
28	平成29年11月26日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	10	防災訓練の振り返り	防災訓練でわかったことを確認する	中村知恵	吉田良恵
29	平成29年12月3日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	11	プレゼントをする、受け取る	プレゼントをもらったり、あげたりする時の日本語を学ぶ	村上洋子	吉田良恵
30	平成29年12月10日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	15	劇をしよう	国際交流パーティー参加のための劇の練習	村上洋子	吉田良恵
31	平成29年12月17日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	13	劇をしよう	国際交流パーティー参加のための劇の練習	多島智枝	吉田良恵
32	平成29年12月24日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	15	劇をしよう	国際交流パーティー参加のための劇の練習	グラッシ徳子	吉田良恵
33	平成30年1月7日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	10	お正月行事	日本の伝統的なお正月を理解し、体験する	大杉桂子	吉田良恵
34	平成30年1月14日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	9	救命救急	消防や警察への電話のかけ方	大杉桂子	吉田良恵
35	平成30年1月21日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	9	医療機関で治療を受ける	検査について知る	大杉桂子	吉田良恵
36	平成30年1月28日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	8	薬の飲み方	医者でもらった薬の飲み方がわかるようになる	村上洋子	吉田良恵
37	平成30年2月4日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	6	宅配便を利用する	不在配達通知に対応する	牧本暢子	吉田良恵
38	平成30年2月11日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	7	市役所での手続き	必要箇所に記入し必要な書類を揃える	中村知恵	吉田良恵
39	平成30年2月18日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	6	自分の意見を言う	自分の考えが伝えられるように①	多島智枝	吉田良恵
40	平成30年2月25日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	5	自分の意見を言う	自分の考えが伝えられるように②	牧本暢子	吉田良恵

(1) 特徴的な活動風景(2~3回分)

○取組事例①

【第27回 平成29年11月19日】

小松市主催の防災訓練では外国人学習者が普段あまり接することができない地域住民との交流にもなり良かった。地域住民も積極的に話しかけてくれ、たどたどしい日本語でも情報を収集できることを実感したと思われる。また、災害時に情報をどのように収集しどのような行動をとればよいかも実体験でき良かった。



○取組事例②

【第34回 平成30年1月14日】

小松市消防本部の協力のもと実際に緊急時にどうやって電話をかければよいか、実践してみた。最初は学習者も日本語がおぼつかないの  
で、こわごわできないと言いながら取り組んでいたが、何を話せばよいか、どうすればよいか分かり自信が来たようだ。学習者自身もこれ  
で何かあった時に電話できると喜んでいて。



(2) 目標の達成状況・成果

色々な活動を通して、学習した日本語を使って普段話す機会がない地域住民の方々と、日本語で話せる機会ができたという声が多かった。日本語を使用することで自信もつき、また新たな学習意欲が高まり良かったと思われる。学習者が自分たちの日本語に自信がなく、私たち講師側がいくら大丈夫だと言ってもあまり説得力がなかったが、実際に日本人と交流し、日本語でコミュニケーションを取ることで実践されたことが、これからの学習への動機づけになった。

(3) 今後の改善点について

たどたどしい日本語なので、日本人側が少し話すのを躊躇するようなこともあった。日本人側にも、積極的に話しかけてもらえるよう取組が必要。外国語が話せないからと日本人側が遠慮したり、敬遠されると、学習者が自分たちの日本語に落ち度があると勘違いし、うまくいかなかった例も見受けられた。何かの活動の前に、日本人側にやさしい日本語で十分通じコミュニケーションが図れるということを周知してもらう必要がある。やはり簡単なやさしい日本語の説明など、少し時間を取った方がいいと思った。

### 3. 各取組の報告

日本語教育の実施【活動の名称：協働のための日本語教育(初級クラス)】									
目的・目標	「生活者のための外国人」のための標準的なカリキュラム案に基づき、日本語レベルのさらなる向上を目指す。また、文化的背景の学習及び知識の習得、地域で行われている行事等に積極的に参加することによる顔の見える関係づくりを目指すと共に、日本語学習を躊躇している外国人の更なる掘り起しを進める。								
対象	外国人								
取組の内容	初級クラスは生活に必要な日本語の基礎を学ぶ。								
実施期間	平成29年5月7日～平成30年2月25日			曜日・時間帯		日曜日(9:30～11:30)			
開催回数	全 80 時間 (1回 2時間 × 40 回)			開催場所		こまつまちづくり交流センター			
参加者	総数 53 人 (日本語学習者 42 人、指導者・支援者 11 人など)			使用した教材・リソース		文化庁「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案、みんなの日本語 I・II、おしゃべりのたね、小松市広報、市役所の見取り図、ゴミわけパンフレット、ゴミカレンダーなど			
出身・国別内訳 (人数)	中国	韓国	ブラジル	ベトナム	ネパール	タイ	インドネシア	ペルー	フィリピン
	2	1	5	20		2	8		2
カリキュラム案活用	日本語を使って、健康・安全に暮らす。他者との関係を円滑にする。相互理解を図り、社会の一員として生活を送ることができる。								
日本語教育の実施内容									
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組のテーマ	授業概要	指導者名	補助者名	
1	平成29年5月7日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	11	あいさつ	あいさつの種類と目的を理解する	村上洋子	吉田良恵 佐々木アマリ 盛合マリアンオトシ	
2	平成29年5月14日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	14	自己紹介	簡単な自己紹介ができる	村上洋子 多島智枝	吉田良恵 佐々木アマリ 盛合マリアンオトシ	
3	平成29年5月28日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	15	時間、月日	時間、月日が言える、聞ける	村上洋子 グラッシ徳子	吉田良恵 盛合マリアンオトシ 杉本フアビオ	
4	平成29年6月4日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	13	目的地に移動する	往来動詞が使えるようになる	村上洋子 グラッシ徳子	吉田良恵 佐々木アマリ 盛合マリアンオトシ	
5	平成29年6月11日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	13	目的地に移動する	行きたい場所に移動できるようになる	村上洋子 グラッシ徳子	吉田良恵 盛合マリアンオトシ 杉本フアビオ	
6	平成29年6月18日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	15	動作が言える	生活に必要な基本動詞が使えるようになる	村上洋子 グラッシ徳子	吉田良恵 佐々木アマリ 盛合マリアンオトシ 杉本フアビオ	
7	平成29年6月25日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	15	動作が言える	簡単な日常生活を話せるようになる	村上洋子 グラッシ徳子	吉田良恵 佐々木アマリ 盛合マリアンオトシ 杉本フアビオ	
8	平成29年7月2日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	12	位置が言える	存在や所有が話せるようになる	グラッシ徳子 シケイラロボ初音	吉田良恵 盛合マリアンオトシ	
9	平成29年7月9日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	13	救急総合訓練のための事前授業	消防の救急隊の訓練に外国人通報役としての学習	村上洋子 北川雅恵	吉田良恵 佐々木アマリ 盛合マリアンオトシ	
10	平成29年7月16日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	13	郵便局へ行こう	郵便局で切手を買ったり、荷物を送ったりする	村上洋子 グラッシ徳子	吉田良恵 佐々木アマリ 盛合マリアンオトシ	
11	平成29年7月23日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	11	買い物しよう	スーパーで買い物をする	村上洋子 グラッシ徳子	吉田良恵 盛合マリアンオトシ 杉本フアビオ	
12	平成29年7月30日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	11	物品を購入する	必要な物を売っている場所を聞く	村上洋子	吉田良恵 盛合マリアンオトシ 杉本フアビオ	
13	平成29年8月6日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	13	物品を購入する	店員に商品について尋ねることができる	村上洋子	吉田良恵 佐々木アマリ 盛合マリアンオトシ 杉本フアビオ	
14	平成29年8月13日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	14	物品を購入する	商品の機能や値段を聞くことができる	村上洋子	吉田良恵 佐々木アマリ 盛合マリアンオトシ 杉本フアビオ	
15	平成29年8月20日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	14	物品を購入する	必要な物を選んで購入する	村上洋子 シケイラロボ初音	吉田良恵 佐々木アマリ 盛合マリアンオトシ 杉本フアビオ	
16	平成29年9月3日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	15	ゴミ問題	ごみの分別用語を学習する	村上洋子	吉田良恵 石黒真弓 盛合マリアンオトシ	
17	平成29年9月10日(日) 9:30～11:30	2	こまつまちづくり交流センター	14	ゴミ問題	小松市のごみの分別が正しくできるようになる	村上洋子 牧本暢子	吉田良恵 佐々木アマリ 盛合マリアンオトシ 杉本フアビオ	

18	平成29年9月17日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	13	レストラン探す	希望の食べ物があるレストランを探す	村上洋子	吉田良恵 石黒真弓 佐々木アマリ 盛合マクリンオトシ 杉本フアビオ
19	平成29年9月24日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	14	レストランで食事しよう	メニューを見て注文できるようにする	村上洋子	吉田良恵 石黒真弓 佐々木アマリ 盛合マクリンオトシ 杉本フアビオ
20	平成29年10月1日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	12	予約の仕方	レストランや公共施設の予約ができるようになる	村上洋子	吉田良恵 佐々木アマリ 盛合マクリンオトシ 杉本フアビオ
21	平成29年10月8日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	11	小松市主催の防災訓練事前学習	次週の防災訓練の事前学習をする	村上洋子	吉田良恵 佐々木アマリ 盛合マクリンオトシ
22	平成29年10月15日(日) 9:30~11:30	2	国府小学校	7	防災訓練	小松市総合防災訓練に参加する	村上洋子	吉田良恵
23	平成29年10月22日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	10	非常の時	119に電話する	村上洋子	吉田良恵 盛合マクリンオトシ
24	平成29年10月29日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	11	医療機関で治療を受ける	医者に自分の症状を伝えられるようにする	村上洋子	吉田良恵 盛合マクリンオトシ 杉本フアビオ
25	平成29年11月5日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	9	医療機関で治療を受ける	問診表の書き方、答え方	村上洋子	吉田良恵
26	平成29年11月12日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	8	薬の飲み方	薬の飲み方がわかるようになる	村上洋子	吉田良恵
27	平成29年11月19日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	14	小松市防災訓練事前学習	防災訓練の事前学習をする	村上洋子 大杉桂子	吉田良恵 盛合マクリンオトシ
	平成29年11月19日(日) 13:00~16:00	3	北部地区体育館	14	防災訓練	小松市総合防災訓練に参加する		
28	平成29年11月26日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	9	防災訓練の振り返り	防災訓練でわかったことを確認する	村上洋子	吉田良恵 盛合マクリンオトシ
29	平成29年12月3日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	10	プレゼントをする、受け取る	プレゼントをもらったり、あげたりする時の日本語を学ぶ	中村知恵	吉田良恵 盛合マクリンオトシ
30	平成29年12月10日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	13	劇をしよう	国際交流パーティ参加のための劇をする	大杉桂子	吉田良恵
31	平成29年12月17日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	12	劇をしよう	国際交流パーティ参加のための劇をする	村上洋子	吉田良恵 佐々木アマリ 杉本フアビオ
32	平成29年12月24日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	13	劇をしよう	国際交流パーティ参加のための劇をする	村上洋子	吉田良恵
33	平成30年1月7日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	7	お正月行事	日本の伝統的なお正月の行事を理解し、体験する	村上洋子	吉田良恵 佐々木アマリ 杉本フアビオ
34	平成30年1月14日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	8	住宅を探す	住宅について希望や条件を伝えることができる	村上洋子	吉田良恵 佐々木アマリ 杉本フアビオ
35	平成30年1月21日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	10	引越しをする	部屋にあるものを言うようにする	村上洋子	吉田良恵 佐々木アマリ 盛合マクリンオトシ 杉本フアビオ
36	平成30年1月28日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	9	引越しをする	粗大ごみの出し方を学習する	グラッソ徳子	吉田良恵 盛合マクリンオトシ 杉本フアビオ
37	平成30年2月4日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	7	宅配便を利用する	不在配達通知に関する言葉を知る	シケイラロボ初音	吉田良恵
38	平成30年2月11日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	7	宅配便を利用する	不在配達通知に対応する	村上洋子	吉田良恵 杉本フアビオ
39	平成30年2月18日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	6	自分の意見を言う	自分の考えが伝えられるように①	村上洋子	吉田良恵 杉本フアビオ
40	平成30年2月25日(日) 9:30~11:30	2	こまつまちづくり交流センター	6	自分の意見を言う	自分の考えが伝えられるように②	村上洋子	吉田良恵 杉本フアビオ 盛合マクリンオトシ 佐々木アマリ

## (1) 特徴的な活動風景(2~3回分)

### ○取組事例①

【第22回 平成29年10月15日】小松市主催の防災訓練では外国人学習者が普段あまり接することができない地域住民との交流にもなり良かった。地域住民も積極的に話しかけてくれ、たどたどしい日本語でも情報を収集できることを実感したと思われる。また、災害時に情報をどのように収集しどのような行動をとればよいかも実体験でき良かった。



### ○取組事例②

【第33回 平成30年1月7日】日本の伝統的な正月行事をみんなで体験した。餅つきや坊主めくり、書初めなどそれぞれグループで各行事を理解した。学習者たちは初めての体験もあり興味を持って取り組んでいた。



## (2) 目標の達成状況・成果

取り組みについて意見や感想をインタビューし評価した結果、目標としていた地域行事に参加し、顔の見える関係づくりに対して日本人と日本語を使い交流でき嬉しかった、という評価を得た。また、日本語を使用し交流することでもっと日本語の必要性を感じ、日本語のさらなる向上を目指すという前向きな意見も聞けた。それに、日本語の学習の必要性を教えていきたいという積極的な意見もあった。

## (3) 今後の改善点について

日本語がまだ不十分なため、どうしても受け身になりがちで参加のみのかたちになってしまう。しかしながら、日本語学習の必要性や更なる向上を促すことができ、学習意欲や地域住民として積極的に参加できるという意識は高まったように思われる。

日本語教育を行う人材の養成・研修の実施【活動の名称：日本語講師養成講座】

目的・目標	外国語が話せないと外国人と交流できない、何か国語話せないから日本語講師なんてできない、と思っている市民がいる中、そのような誤解を払拭し、同じ地域に在住する外国人のことを知り、日本語教育の重要性や多文化共生社会の推進について理解してもらおう。また、外国人に日本語を教えるとはどういうことか、地域の外国人の実状にあった日本語の教え方とはどのようなものかを学び、日本語講師としての基礎を習得する。								
対象	日本語を教えることに興味のある方なら誰でも								
取組の内容	小松市の外国人数や国籍、なぜ小松に在住しているのかなど、まずは小松市の外国人の実状や日本語学習の実状・課題を知ってもらい、日本語能力評価の「能力記述の一覧」を参考にし、外国人の実状にあった効率的な日本語の教え方を学ぶことによって、日本語教育の重要性や多文化共生社会の推進についての理解を深める。								
実施期間	平成29年7月25日～平成30年2月16日				曜日・時間帯		平日(9:30～12:30)		
開催回数	全 60 時間 (1回 3 時間 × 20 回)				開催場所		こまつまちづくり交流センター		
参加者	総数 21 人 (日本語学習者 5 人、指導者・支援者 4 人など)				使用した教材・リソース		みんなの日本語 I、II、おしゃべりのたね		
出身・国別内訳 (人数)	中国	韓国	ブラジル	ベトナム	ネパール	タイ	インドネシア	ペルー	フィリピン
	1		2	2					
カリキュラム案活用	カリキュラム案の教材例集を用いて、実際の教案づくりや模擬事業を行う								

養成・研修の実施内容

回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	研修のテーマ	授業概要	講師名	補助者名
1	平成29年7月25日(火) 9:30～12:30	3	こまつまちづくり交流センター	9	現状を知ろう	小松の在住外国人数、日本語学習者数を知り、現状の問題点を把握する	天野晴美	綾美寿恵
2	平成29年7月26日(水) 9:30～12:30	3	こまつまちづくり交流センター	11	日本語を教えるとは	自分たちの使っている日本語はどんな言葉か知る	村上洋子	綾美寿恵
3	平成29年7月27日(木) 9:30～12:30	3	こまつまちづくり交流センター	11	どうやって教えるか	教授法、シラバス、コースデザインとは	村上洋子	綾美寿恵
4	平成29年7月28日(金) 9:30～12:30	3	こまつまちづくり交流センター	10	どうやって教えるか	直接法とは	村上洋子 牧野亜子	綾美寿恵
5	平成29年7月31日(月) 9:30～12:30	3	こまつまちづくり交流センター	8	動詞の分類	動詞のグループ分け、活用形	多島智枝	綾美寿恵
6	平成29年8月4日(金) 9:30～12:30	3	こまつまちづくり交流センター	6	形容詞とは	形容詞の分類、使い方	多島智枝	綾美寿恵
7	平成29年8月7日(月) 9:30～12:30	3	こまつまちづくり交流センター	8	発音、アクセント	日本語の発音、アクセント、イントネーション	村上洋子	綾美寿恵
8	平成29年8月8日(火) 9:30～12:30	3	こまつまちづくり交流センター	9	教案の作り方	教案とは、例文の作り方とは	村上洋子	綾美寿恵
9	平成29年8月9日(水) 9:30～12:30	3	こまつまちづくり交流センター	9	カリキュラム案	カリキュラム案とはなにか	村上洋子	綾美寿恵
10	平成29年8月10日(木) 9:30～12:30	3	こまつまちづくり交流センター	8	やってみよう	教材例集を使って教えてみる	村上洋子	綾美寿恵
11	平成30年1月17日(水) 9:30～12:30	3	こまつまちづくり交流センター	5	つくってみよう	教案の作り方	グラッシ徳子	綾美寿恵
12	平成30年1月19日(金) 9:30～12:30	3	こまつまちづくり交流センター	4	つくってみよう	教案を実際につくってみよう	グラッシ徳子	綾美寿恵
13	平成30年1月24日(水) 9:30～12:30	3	こまつまちづくり交流センター	5	つくってみよう	何が教材として必要か考えてみよう	グラッシ徳子	綾美寿恵
14	平成30年1月26日(金) 9:30～12:30	3	こまつまちづくり交流センター	5	教えてみよう	作った教案で模擬授業	グラッシ徳子	綾美寿恵
15	平成30年1月31日(水) 9:30～12:30	3	こまつまちづくり交流センター	4	教えてみよう	作った教案で模擬授業	グラッシ徳子	綾美寿恵
16	平成30年2月2日(金) 9:30～12:30	3	こまつまちづくり交流センター	5	教えてみよう	模擬授業の反省会	グラッシ徳子	綾美寿恵
17	平成30年2月9日(金) 9:30～12:30	3	こまつまちづくり交流センター	5	教えてみよう	「実際に外国人と話してみよう」案を考える	グラッシ徳子	綾美寿恵
18	平成30年2月11日(日) 13:00～16:00	3	こまつまちづくり交流センター	5	教えてみよう	実際に外国人と話してみる	グラッシ徳子	綾美寿恵
19	平成30年2月14日(水) 9:30～12:30	3	こまつまちづくり交流センター	5	教えてみよう	反省会 何が必要だったかを考えてみよう	グラッシ徳子	綾美寿恵
20	平成30年2月16日(金) 9:30～12:30	3	こまつまちづくり交流センター	5	教えてみよう	まとめ	グラッシ徳子	綾美寿恵

(1)特徴的な活動風景(2~3回分)

○取組事例①

【第4回 29年7月28日】

直接法を理解するためにインドネシア語を実際に直接法で習う体験をする。日本語を一切使わずにインドネシア語を習うことで直接法で学ぶ学習者の立場を理解する。



○取組事例②

【第10回 29年8月10日】

実際に活動例から教案を作って、模擬授業を行う。先生の立場、学習者の立場を経験することで、どう教えたら効果的かを学ぶ。



(2) 目標の達成状況・成果

集まった受講者の目的は、「ホームステイに来る外国人の質問に答えられるようになりたい、国語の先生を退職したので、何か生かせるかと思った、とか日本語に興味があったなど様々で、最初から質問も多く積極的に取り組む姿が見られた。しかし、彼らが思っていたより、日本語を教えることが難しく、こんなに大変だと思わなかったとか、教えることの難しさを実感したとかいう意見が多く、日本語が話せるから教えられるわけではないということは理解してもらうことができた。残念ながら、教えたいと希望した受講者の一名は家族の転勤で小松を離れることになってしまったが、転勤先でも教えられるところを探して続けていくとのことだった。年配の方たちはそこまで大変な思いはしたくないという理由で教えることは断念するということがあった。

(3) 今後の改善点について

日本語を教えることに興味を持つ受講者が集まったが、いざ始めてみると、思ったより簡単ではないことがわかり、最後まで積極的に参加したもの、実際に教えてみるのは難しいと判断されてしまったので、さらに10回実践的に教えることを重点的に学んでみたが、10回のコースだけではすぐには教えることを始めるのは難しく、継続した養成講座が必要である。

日本語教育を行う人材の養成・研修の実施【活動の名称:外国人の為に日本語講師養成講座パートⅡ】

目的・目標	平成27年度に実施した「外国人向け日本語講師養成講座」の受講者のレベルアップ及び、現在のポルトガル語以外の言語を母語とする外国人日本語講師の育成。								
対象	平成27年度文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育事業にて実施した「外国人向け日本語講師養成講座」受講者を含む外国人								
取組の内容	平成27年度に実施した「外国人向け日本語講師養成講座」を修了し、昨年日本語講師として活躍中の外国人講師たちが授業で直面する問題を一緒に解決し、クラス運営や抱えている問題点を探りレベルアップをすることを目指す。さらに、昨年はポルトガル語以外を必要とする中国、ベトナム、タイ、フィリピンの初級者も増えてきたので、ポルトガル語以外の対応ができるよう外国人講師の幅を広げる。								
実施期間	平成29年6月18日～平成30年2月11日				曜日・時間帯		日曜日(11:30～13:00)		
開催回数	全 30 時間 (1回 1.5時間 × 20 回)				開催場所		こまつまちづくり交流センター		
参加者	総数 19 人 (日本語学習者 18 人、指導者・支援者 1 人など)				使用した教材・リソース		日本語教育の標準的なカリキュラム案 みんなの日本語1		
出身・国別内訳 (人数)	中国	韓国	ブラジル	ベトナム	ネパール	タイ	インドネシア	ペルー	その他
	3		10			1	2		2
ウルグアイ(1)、ハンガリー(1)									
カリキュラム案活用	物品購入、サービスを利用する商品の名前や値段の言い方をどう教えるか。他者との関係を円滑にする挨拶の種類と目的を理解するなど、カリキュラム案と教材例を活用しながら、実際の受講者をイメージして、より良いクラス運営ができるように授業の進め方を学ぶ。								

養成・研修の実施内容

回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	研修のテーマ	授業概要	講師名	補助者名
1	平成29年6月18日(日) 11:30～13:00	1.5	こまつまちづくり交流センター	12	オリエンテーション	問題点をさぐる	村上洋子	吉田良恵
2	平成29年6月25日(日) 11:30～13:00	1.5	こまつまちづくり交流センター	11	文字	文字の扱いかた	村上洋子	吉田良恵
3	平成29年7月9日(日) 11:30～13:00	1.5	こまつまちづくり交流センター	13	発音	発音に気をつけよう	村上洋子	吉田良恵
4	平成29年7月16日(日) 11:30～13:00	1.5	こまつまちづくり交流センター	9	アクセント	アクセント、拍に気をつけよう	村上洋子	吉田良恵
5	平成29年7月23日(日) 11:30～13:00	1.5	こまつまちづくり交流センター	12	イントネーション	イントネーションに気をつけよう	村上洋子	吉田良恵
6	平成29年8月6日(日) 11:30～13:00	1.5	こまつまちづくり交流センター	12	助詞	助詞の分類	村上洋子	吉田良恵
7	平成29年8月13日(日) 11:30～13:00	1.5	こまつまちづくり交流センター	10	動詞	動詞のグループ	村上洋子	吉田良恵
8	平成29年8月20日(日) 11:30～13:00	1.5	こまつまちづくり交流センター	10	動詞	動詞の活用形	村上洋子	吉田良恵
9	平成29年9月3日(日) 11:30～13:00	1.5	こまつまちづくり交流センター	10	動詞	その他の動詞	村上洋子	吉田良恵
10	平成29年9月10日(日) 11:30～13:00	1.5	こまつまちづくり交流センター	10	形容詞	形容詞のグループ	村上洋子	吉田良恵
11	平成29年9月17日(日) 11:30～13:00	1.5	こまつまちづくり交流センター	8	形容詞	形容詞の活用	村上洋子	吉田良恵
12	平成29年9月24日(日) 11:30～13:00	1.5	こまつまちづくり交流センター	9	副詞	副詞とは	村上洋子	吉田良恵
13	平成29年10月1日(日) 11:30～13:00	1.5	こまつまちづくり交流センター	8	カリキュラム案	カリキュラム案とは	村上洋子	吉田良恵
14	平成29年10月8日(日) 11:30～13:00	1.5	こまつまちづくり交流センター	7	医療機関	問診表の書き方	村上洋子	吉田良恵
15	平成29年10月22日(日) 11:30～13:00	1.5	こまつまちづくり交流センター	6	事故	事故にあったら	村上洋子	吉田良恵
16	平成29年10月29日(日) 11:30～13:00	1.5	こまつまちづくり交流センター	6	銀行	講座の作り方	村上洋子	吉田良恵
17	平成29年11月5日(日) 11:30～13:00	1.5	こまつまちづくり交流センター	5	市役所	役所のサービスの言葉	村上洋子	吉田良恵
18	平成29年11月12日(日) 11:30～13:00	1.5	こまつまちづくり交流センター	6	看板の漢字	探してみよう	村上洋子	吉田良恵
19	平成29年12月3日(日) 11:30～13:00	1.5	こまつまちづくり交流センター	9	災害	災害の時	村上洋子	吉田良恵
20	平成29年12月10日(日) 11:30～13:00	1.5	こまつまちづくり交流センター	6	まとめ	模擬授業	村上洋子	吉田良恵

(1) 特徴的な活動風景(2~3回分)

○取組事例①

【第1回 平成29年6月18日】

日本語を教えることに興味のある上級学習者に集ってもらい、日本語を学ぶことの問題点などを考えた。



○取組事例②

【第19回 平成29年12月3日】

消防署の協力を得て、災害時に最低限必要な言葉を考えて。まず119の電話のかけ方や、救急か火事かの確認を行った。次に自分のいる場所をどのように伝えることができるか、電話でのやり取りについては小松市では6か国語の通訳ができるようになっている為、言語よりも自分のいる場所を知ることが大切ということであった。そのため近くにいる日本人にどこにいるかを伝えてもらえるようお願いするのが一番だということがわかった。

外国人防災士も同席したので、災害時のポイントについても詳しく説明してもらうことができた



(2) 目標の達成状況・成果

平成27年のパートIの時と同様最初は受講者が多かったがだんだん少なくなり、残念だった。共通の感想は、わかっているつもりだったが、実際に教えようすると知らないことや自信がないことが多く、教える立場になるのは難しいと感じたということだった。知らないことが多く学べて勉強になったという意見もあった。

(3) 今後の改善点について

母語で学ぶことが初級の学習者の助けになると思って進めて来たが、どうしても日本語を話す機会が減って、母語を話してしまうこと、また、学習者によっては日本語を学ぶなら、日本人から学びたいという意見もあり、外国人が日本語を教えることの難しさを感じた。今後は日本人と協力して授業の進め方を検討していかなければならないと思われる。

日本語教育のための学習教材の作成【教材の名称：読んでみよう！書いてみよう！】			
目的・目標	初級レベルの外国人の読み書きに対する苦手意識を払拭することで、ある程度の情報を自分で得ることができるようになり、日本語学習継続へのモチベーションにつなげる。		
対象	ポルトガル語を母語とする初級レベルの学習者		
教材の内容	ひらがな あ～ん までを 知っている言葉を使いながら覚える。同時に語彙をたくさん文字で認識するようにする。聞いてわかる言葉を読んだり、書いたりすることで言葉を再認識する。		
実施期間	平成29年6月18日～平成30年2月18日	成果物のリンク先	
作成教材の想定授業時間 コマ数と頁数	1回 2 時間 × 21 回 = 42時間分	教材の頁数	56 ページ
カリキュラム案活用	教材例集から言葉を拾い、それをもとに覚えやすい役に立つ語彙表を作成する。		
教材の活用方法	ポルトガル語の訳をつけてあるので、自分でも自習できるようになっている。話せるが読めない書けないということで、初級のクラスに入れば簡単であるし、中級のクラスに入れば読み書きができないせいで一緒にクラスで学べない人たちが文字に興味を持てるように作成した。		
今後の活用の予定	滞在年月が長い日系人を中心にポルトガル語を母語とする人たちと共に学習する。		



#### 4. 事業に対する評価について

##### (1) 事業の目的・目標

昨年度は外国人日本語講師が初級クラスの日本語指導補助として自分たちの母語で日本語を教えることにより、日本語学習のすそ野を広げるための取組を行ってきたが、その結果、日本語教育支援者側となって活躍できる外国人キーパーソンを集めて活躍できるようになり、地域にも日本語で発信できる外国人が増えた。しかし、外国人が小松市に暮らすための日本語を教えるための「小松式日本語教育プログラム(カリキュラム)」はまだ整備されていない。日本語教育に対する理解や周知が広がった今、日本語教育の実施体制を構築するための教室・教材・人材養成のプログラムを整備する。日本語教室に参加しない外国人や日本語が全く話せない外国人はまだ多い。また、実際に教えてみて直面する問題や、現在はポルトガル語を母語とする外国人講師のみのため、他の言語の学習者に対応することが難しいという問題を解消し、更なる日本語学習者の掘り起しを進め指導者の育成にもつなげる。さらには地域住民のなかからも日本語講師の育成を進め、地域全体に日本語教育の必要性や多文化共生社会の推進、外国人と日本人の協働によるまちづくりについて理解を促進する。そして日本人指導者と外国人指導者の協働による「小松式日本語教育プログラム」を策定できるよう、今年度も継続して連携を深める。また、簡単な会話ができるが読み書きができない日系人が多いため、そのような層に対して外国人日本語講師が使用できるような教材を作成し、日本語学習支援の更なる充実を図る。

##### (2) 目的・目標の達成状況・事業の成果

日本語教室の運営は安定し、定住者、永住者以外に多くの技能実習生などが参加して活気のあるクラス運営ができています。これは学習者のアンケートにも顕著に表れている。日本語講師養成講座においては参加したが、実際に教えるのは難しいという意見が多く、また教えることの負担が大きいうことで、残念ながら、教えるまでには至らなかった。この傾向は外国人講師養成講座にも見られ、講師の養成をもっと時間をかけて行う必要があると思われる。教材については今年はポルトガル語に特化して作成したが、今後多言語に増やせることが望ましい。

##### (3) 標準的なカリキュラム案の地域での活用について

カリキュラム案は実際の授業はもちろん、日本語講師養成講座でも取り上げ、内容を確認し、模擬授業にも用いた。

##### (4) 地域の関係者との連携による効果、成果等

小松市とは総合防災訓練を通して連携し、小松市消防本部とは、防災運動会を行うなど、連携を深めることができた。今後も小松市民救護員など災害時に備え、お互いに協力できる関係を構築していく予定である。また運営母体である小松市役所には日本語を教えることの難しさを理解してもらい、今後も養成講座、日本語授業に対する支援を続けていけるように予算をアップしてもらうことになった。様々な活動を通して市役所全体が地域の外国人のためにどんな取り組みができるかを考えてもらえるようになったことは本当に良かった。

##### (5) 事業実施に当たったの周知・広報と、事業成果の地域への発信等について

事業実施にあたっての周知活動としては、日本語教室の存在のPRとして、外国人を雇用している企業への働きかけ、また当協会のHPやFBを通して活動内容の報告や呼びかけを行った。また北國新聞には文化庁の予算で地域の外国人のために教材を作っていることが紹介され、今後の授業で生かされていくことが強調されていた。さらに市内にあるロータリークラブ各種と連携して、今後は各クラブとの連絡を密にし、活動報告の場を広げ発信していく予定である。

##### (6) 改善点、今後の課題について

日本語教室は日曜日に行われるため日本語講師の不足が大きな課題である。養成講座を開いても、日曜日に教えられる人が少なく、また、負担が大きいため躊躇する人も少なくない。また、外国人日本語講師も普段普通に仕事をもっているの、作った教材をもとにできるだけ考える時の負担が少なくなるようにしていきたい。小松市や、小松市消防本部との連携は密になってきているので、今後は新しく新設された公立小松大学との連携を深め、学生の協力を得られるようにしていくのが望ましいと思われる。

##### (7) その他参考資料

- ・学習ポートフォリオ
- ・日本語講師養成講座チラシ